













第一百六十一條

桃川如燕口寅  
上義三郎速記



日を送りました。富田屋長五郎の代  
 理に仲間の客舎に行つて監禁。詔田  
 の城下三軒茶屋といふ所へ登掛つて  
 来る。と信實の小僧が高利貸の佐助に  
 促まつて打しに附て居る。持前の俠  
 義で見えたから附へ飛込んで十三、四  
 文を金子を出して小僧を斬けし證  
 文を取返して佐助を打倒つた。之を  
 迎ひ掛つて見て居りましたが井上  
 吉原、自分も吉原に居て人を見て居  
 る。此人は仰ぐ使へるとか此人はい  
 りないとかいふ事はスグ分ります、  
 その傳吉が新之助を見て惚込んだか  
 ら三軒茶屋へ呼んで初対面の挨拶を  
 いたしました。此邊は前々伺ひまし  
 らぬ通りでござい。新之助も尋ね  
 られるまゝ自分の素性を打明けて話  
 しました。傳吉も感心した。傳「イヤ  
 うも能くお話し下さいました。私  
 人も度々お申し立て居ります。昔  
 仲々御機嫌だったさうで、中村屋  
 鬼兵衛様さんといつちやア懐へ上  
 りののださうで。傳へニ様ださ  
 くて只今はもう老年でございませうか  
 昔の勇氣はございませうか。又た何  
 のお話對手になりました。新「有難  
 存じます。是非伺ひませう。初対面  
 はあるが、兩方々氣に入りました  
 こそ。其日は別れましたが其後難  
 那が傳吉の處へ尋ねて来て話しを  
 る。富田屋長五郎も傳吉の辭を  
 いて居りますから之も尋ねて行く  
 と與兵衛も行通ひをする様になりま  
 した。其間別段お話しもない。處が  
 吉が日夜苦心をいたして居ります  
 のは和泉屋原の掟、之が仲々む  
 づかしい。能く昔しからの言傳へ  
 人仕を入れなければいけぬとい

防臭

喜ぶといふ法はない、其よりも經文を石に書いて洗つたら宜しからうといつて、秦智の山から切出したる石面にそれに一切經を書寫して是を洗ふました、經文の功德によつて風浪の騒もなく承安の三年無事に成戦いたしました、之に依つて經々歸さる心をしたしましたもの、和泉河原の黒崎の傳吉が龜田を擧つて築き初めたがどうしても成戦しない、一度は出来上つた處へ水が出て洗ひ去られてしまひ、二度日には工事中に驟風雨があつて崩れてしまひました、三日目に築き立てました處は亦出水のために妨なげられて半途にして止である、それを傳吉が非常に苦心して夜の日も眠らんばかり、村内の者も苦心いたして居るがどうにも仕方がない、然るに多田郡之助が之を承はつて家傳はる甲州流の築城法、水を導いて山を削し、土を固めて水を防ぎ先祖多田流守が苦心して發明したる工夫を以つて此班防を成就するのお話。

[illegible]

ホントニ  
安心して染られます

安全コクオール  
染毛は永く続かせん

故に三月からは生際だけや染ればよろしい  
ホントニ  
徳用な白髪染です

赤毛 染  
あか ゑめ

大正 高橋盛大堂藥局  
賣 兼 同心 高橋盛大堂分店

何故に化粧用に適するか  
色白く肌理を滑かにすればより

優良石鹼

鳥都鳥

何故に浴室用に適するか  
泡出微細に心地好く伸びれば也

花


マスト石鹸發賣元  
東京 大坂 野村外吉商店

11

四  
 愛  
 児  
 の  
 爲  
 め  
 謹こころんで白まをす

醫師の推奨むる

クワ  
歯  
磨



クワズ歯磨  
の信用更に  
益々加はる

斯の如く醫學者間に最も厚き信用をする天下一品のウツラ齒磨に就き先般もドクトル羽太銳治氏は其の新著の一節に叙べて曰く「口内炎を來す事あれば余は其の齒磨を牙の汚穢なる者は齒科醫に従ひて齒石を除かしめ其の齒牙を清潔ならしむる上に於てウツラ齒磨を用ひしむウツラ齒磨は余が理想的の齒磨なり昨年余が獨逸より歸るや偶々用ふる處の齒磨は粗惡にして機械的に齒面磨擦するを齒牙を清潔ならしむる能はず然るに料らちもウツラ齒磨を得て其の忽ちに化學的に齒牙を清潔白色ならしむる之を摩擦する兩三回忽ちにも光澤美麗の齒牙となり口内の惡臭を防ぎ齒牙を健全ならしむるを賞讃し余の日常と雖も之を使用し知人朋友にも力めて之を用ひしめ又口内炎の人に之を用ひしむ云々」と其他有力なる多數の醫學者より理想の齒磨として推奨されてあるウツラ齒磨は日本名物として有名な「日本粉」や「洗粉」に比して本店の靈藥に係りて二十種の貴重原料を配合したものにして品質信用共に本邦第一の品あり最近十一月十六日段々宮内省御用の光榮を蒙るや尚ほ竹の國生の尊き邊りよりも御用の御命毎月絶えず近來各地共置くべき賣行の増加を示しつゝあり



**景品は面目一新凡て實用向の物のみに御座候**

**賣出區域 朝鮮全道**

**賣出期圖** 自九月十一日  
至十月三十一日

**引換期圖** 自九月十一日  
至十一月十二日

**景品引換場所** ■京龍市内

京城本町二丁目 東大門路邊内 南大門路邊内 光化門路邊内前 本町四丁目 新龍山 舊龍山 仁川市内 仁川海軍仁川官廳販賣組合 暨其他各地販賣店にて引替可致し圖	喜望煙草景品引替所 恩根綿 金弘植 朴商店 森田商店 永濟商店 小山商店
---	--

**□景品**

- △一等 金罽袍、毛布、時計、其他
- △二等 藝口、ネクタイ、シヤツ、其他
- △三等 煙草パイプ、活動玩具家庭傳入場券共進會入場券、其他
- △四等 匙、毛拔、鉛筆、其他
- △五等 マッチ、紙風船、釘、清快丸、其他

**注** 景品券は到る處の小賣店にある筈ですから上記の











